

2-2. 植生

2-2-1. 北海道

当該地域の北西部、支笏火山の斜面下部にはエドイタヤーシナノキ群落を伐って、トドマツやカラマツを中心とする植林地が広がっている。その東側の美々川や勇払の低地に向かう丘陵地にはクリーミズナラ群落広がるが、近年この部分を中心にゴルフ場開発が進んでいる。美々川の東側の丘陵地には、ミズナラーカシワーコナラ群落広がるが、農地開発が進んでいる。コナラはこの付近が分布北限といわれる。

美々川・勇払川の低地やウトナイ湖周辺にはハンノキ群落が広く分布する。さらに湿潤な環境はヨシ群落が広く分布し、水域にはフトイ、マコモ等の水生植物群落が団地状に分布する。当該地域の南部は苫小牧の市街地が接しているが、その部分とウトナイ湖の間のヨシ群落地帯で大規模な土地造成が進行している。

当該地域に出現した植生は以下のとおりである（農耕地、市街地の植生は除く）。

<自然植生>

落葉広葉樹林

- ・ハンノキ群落

<代償植生>

落葉広葉樹

- ・エゾイタヤーシナノキ群落
- ・ミズナラーカシワーコナラ群落
- ・クリーミズナラ群落半自然草原
- ・ススキーエゾヤマハギ群落

伐採跡地群落

<水辺・湿原・塩沼地・砂丘植生>

自然草原

- ・ヨシクラス
- ・オギ群集

<植林>

常緑針葉樹林

- ・トドマツ植林
- ・ヨーロッパアカマツ植林

落葉針葉樹林

- ・カラマツ植林

2-2-2. 埼玉県

当該地域の山地は標高 100m ~ 450m で暖温帯に属するが、ほとんどがスギ・ヒノキ植林で占められ、その中に代償植生のコナラ・クリ群落が点在している。自然植生はケヤキ林、スダジイ林、モミ林、シラカシ林などがごく小面積で残存しているに過ぎない。丘陵地、台地は開発が進み、市街地、住宅地、ゴルフ場、桑畑、耕作

地が広い面積を占めるが、代償植生のアカマツ林やコナラ林も比較的まとまった面積で残っている。なお、暖温帯域のアカマツ林はマツノザイセンチュウによる枯死により大きな被害を受けている。河川に沿った低地部は水田に利用され、クヌギーコナラ林も点在している。

当該地域に出現した植生は以下のとおりである（農耕地、市街地の植生は除く）。

<自然植生>

常緑針葉樹林

- ・モミーシキミ群集

落葉広葉樹林

- ・イヌシデーアカシデ群集

常緑広葉樹林

- ・ウラジロガシーサカキ群集
- ・ケヤキーイロハモミジ群集
- ・アラカシ群落
- ・シラカシ群集
- ・スダジイーヤブコウジ群集

<代償植生>

常緑針葉樹

- ・アカマツヤマツツジ群集

落葉広葉樹

- ・アカシデーイヌシデ群落
- ・クヌギーコナラ群集
- ・コナラクリ群落半自然草原
- ・アズマネザサーススキ群集

伐採跡地群落

<水辺・湿原・塩沼地・砂丘植生>

自然草原

- ・ヨシクラス
- ・オギ群集

<植林>

常緑針葉樹林

- ・スギ・ヒノキ・サワラ植林

落葉広葉樹林

- ・ニセアカシア植林

竹林

- ・モウソウチク林

2-2-3. 静岡県

当該地域の 2/3 が低地で、それは市街地と一部農耕地で占められる。東部には有度丘陵がひろがり、西部にもごくわずかであるが、島状に丘陵地が存在する。

西部の島状に分布する丘陵地にも社寺林などの形態でヤブコウジースダジイ群集などがわずかにみられるが、まとまった面積で森林がみられるのは、有度丘陵である。

その有度丘陵も東部を中心にその 1/3 がミカン畑、北西部の斜面基部には茶畑がひろがる。北西斜面はスギ・ヒノキ植林がひろがり、その間にコナラ群落あるいはアカマツ群落などの二次林が分布する。丘陵南部の急斜面にはシイ・カシ萌芽林が広く分布する。その斜面の中程に位置する久能山にミミズバイースダジイ群集、イノデータブ群集のような常緑広葉樹の自然林が残されている。

当該地域に出現した植生は以下のとおりである（農耕地、市街地の植生は除く）。

<自然植生>

常緑広葉樹林

- ・ヤブコウジースダジイ群集
- ・ミミズバイースダジイ群集
- ・イノデータブ群落

<代償植生>

落葉広葉樹

- ・コナラ群落常緑広葉樹林
- ・シイ・カシ萌芽林

半自然草原

- ・ススキ群団
- ・シバ群落

<植林>

常緑針葉樹林

- ・クロマツ植林
- ・スギ・ヒノキ・サワラ植林

竹林

- ・モウソウチク林

2-2-4. 兵庫県

当該地域の山地部分は、コナラ群落とアカマツ群落といった二次植生によってほとんどが覆われている。面積的な割合では南部ではアカマツ林が多く、北部ではコナラ林が多い傾向にある。それらの二次植生の中に、スギ・ヒノキ植林が点在し、またごく小面積の社寺林としてウラジロガシ・サカキ群集、コジイ・カナメモチ群集、アラカシ群落などの常緑広葉樹の自然林が点的に分布する。

一方、河川沿いの低地は、水田雑草群落、市街地などからなるが、千種川の中州などにヨシ群落が認められる。

当該地域に出現した植生は以下のとおりである（農耕地、市街地の植生は除く）。

<自然植生>

常緑広葉樹林

- ・ウラジロガシ・サカキ群集

- ・コジイーカナメモチ群集
- ・アラカシ群落
- <代償植生>
- 常緑針葉樹
 - ・アカマツ－モチツツジ群集
- 落葉広葉樹
 - ・コナラ群落半自然草原
 - ・ススキ群団
- 伐採跡地群落
- <水辺・湿原・塩沼地・砂丘植生>
- 自然草原
 - ・ヨシクラス
 - ・ウキクサーヒルムシロクラス
- <植林>
- 常緑針葉樹林
 - ・スギ・ヒノキ植林
- 竹林

2-2-5. 沖縄県

当該地域の脊梁山地には、リュウキュウアオイースダジイ群集の常緑広葉樹自然林が広がっており、その中にリュウキュウマツ群落は島状に分布している。その海側の海岸段丘部分は、山地から連続するような形でリュウキュウマツ群落が広がる。リュウキュウマツ群落は自然環境保全基礎調査の植生調査では「自然植生」（植生自然度9）に位置づけられているが、面的に広がりを持つ同群落は、二次林もしくは植林として評価されるべきであろう。

この段丘上や小河川沿いの低地には農耕地が広がっている。

また、段丘崖の風衝地にはアカテツ－ハマビワ群集が海岸線に沿って分布する。太平洋側の慶武原川河口にはマングローブ群落がみられる。

当該地域に出現した植生は以下のとおりである（農耕地、市街地の植生は除く）。

2-3. 動植物相

2-3-1. 植物相 (表Ⅱ-2-1)

文献調査によって各広域モニタリング地域周辺の植物相が確認された。それによると、北海道の広域モニタリング地域周辺ではシダ植物 13 種、単子葉植物 109 種、双子葉植物 322 種の計 444 種が、埼玉県の広域モニタリング地域周辺ではシダ植物 127 種、裸子植物 20 種、単子葉植物 270 種、双子葉植物 838 種の計 1,255 種が、兵庫県の広域モニタリング地域周辺ではシダ植物 41 種、単子葉植物 16 種、双子葉植物 77 種の計 134 種が確認された。静岡県と沖縄県については対象地域に関する既存文献がなく、確認ができなかったようである。また兵庫県に関しても十分な既存文献がなかったようである。

表Ⅱ-2-1 広域モニタリング地域周辺の動植物相
(文献調査による)

	北海道	埼玉県	静岡県	兵庫県	沖縄県
植物	444	1,255		134	
シダ植物	13	127		41	
裸子植物		20			
単子葉植物	109	270		16	
双子葉植物	322	838		77	
動物	1,428	1,982	17	78	301
昆虫	1,154	1,772		4	88
魚類	22	36			
両生爬虫類	3	26	14		25
鳥類	240	148		69	180
哺乳類	9	26	3	5	8

注：数字は種数を示す。

2-3-2. 動物相（表Ⅱ-2-1）

文献調査によって各広域モニタリング地域周辺の動物相が確認された。それによると、北海道の広域モニタリング地域周辺では昆虫類 1,154 種、魚類 22 種、両生・爬虫類 3 種、鳥類 240 種、哺乳類 9 種の計 1,428 種が、埼玉県 of 広域モニタリング地域周辺では昆虫類 1,772 種、魚類 36 種、両生・爬虫類 26 種、鳥類 148 種、哺乳類 26 種の計 1,982 種が確認された。その他の地域では既存文献が不十分であるため、断片的な確認にとどまったが、静岡県では両生・爬虫類 14 種、哺乳類 3 種が、兵庫県では鳥類 69 種、哺乳類 5 種が、また沖縄県では昆虫類 88 種、両生・爬虫類 25 種、鳥類 180 種、哺乳類 8 種が確認されている。

2-4. 大気・水に係る環境

大気にかかわる環境については、各地の資料が収集されているが、ここで特記することはない。また、水環境に関しても資料が収集されているが、地形地質や植生の項目で水系について触れた以上に記載することはない。ここでは各地の基本的気象条件と大気・水に関する観測地点に関する情報を以下の表に整理した。なお、酸性雨に関してはⅡ章4. で論じる。

表Ⅱ-2-2 各地の気候条件と気象・水質・大気観測点

	年平均気温 ℃	年間降水量 mm	気象 観測点	水質汚染 観測点	大気汚染 観測点
北海道	6.9 (85-86)	1,240 (苫小牧)	1	河川：11 湖沼：1	常時測定局：6 (周辺を含む)
埼玉	13.6 (77-85)	1,200 (77-85)	2	河川：3 湖沼：2	常時測定局：4 (周辺を含む) 降下ばいじん：2 湿性降下物：1
静岡	16.1	2,360		河川：3	常時測定局：2
兵庫	14.5 (91)	1,139 (91)		なし	なし
沖縄	21.5	2,265		海域：5	常時測定局：1